

戦気 NO-8

Fighting Spirit

発行者: 三谷大和
 編集者: 岩井淑
 八千代市八千代台東1-44-13 三谷大和スポーツジム
 電話 & Fax: 047(486)2476 ツヨクナロー
 メール: mitani-y@khaki.plala.or.jp
 URL: http://www.mitani-yamato.com/

マスコットの
 ごんごちゃんです



第65回 東日本新人王トーナメント戦

4人決勝戦へ進出

9月の東日本新人王トーナメント準決勝戦に三谷ジムから出場した4選手は全員が勝利し11月2日の決勝戦へ進出した。

9月26日 準決勝戦 斎藤 司 TKO勝利!!

9月26日、フェザー級で出場した斎藤司は戸高秀樹ジムの小澤純一選手(7戦:5勝1KO2敗)と対戦。1ラウンドから両者激しく打合い、司は小沢選手のパンチで左上目上から流血。2ラウンド、3ラウンドも両者激しく打合う。司の流血が激しくなった3ラウンドにドクターチェック。チェック後の再開で司は、より一層連打を繰り返しゴング間際の2分59秒でTKO勝利し11月の決勝戦へ進出した。



後楽園ホール

斎藤司 3ラウンド 流血のTKO勝ち

第65回 東日本新人王トーナメント戦 山本直平 不戦勝(9/25)

スーパーライト級で出場予定だった山本は対戦相手の松岡選手(大橋ジム)が練習中に顎を骨折したため棄権し不戦勝で11月2日の決勝戦に進出した。

鬼ヶ島竜 TKO勝ち(9/26)

ミニマム級で出場の鬼ヶ島は、協栄カヌマジムの宣志富昭誠選手と対戦。3ラウンド左フックで最初のダウンを奪う。4ラウンドも鬼ヶ島は積極的に打って出て左右のフックから連打を続けているところでレフェリーが試合をストップ。鬼ヶ島は2試合連続TKO勝利。タイムは1分53秒。



三谷会長のコメント

みんな勢いに乗りよく戦っている。鬼ヶ島は今朝、戦法を変えた。最初から飛ばさずに相手の出方を待つ戦法に変更したが変更した通りに戦い勝利した。次も頑張れ。司は背負っているものが違うので頑張れる。新人王を獲得だろう。そういう戦い方をしている。次は東日本決勝だ。玄間は対戦相手をなめすぎて練習不足だ。インターバルで気合いを入れたが、玄間は、あのような試合をする選手ではない。決勝戦はモチベーションを高めて戦って欲しい。山本を含めて4人全員が決勝で勝つことを願っている。

小林光希 U-15全国大会 MVP受賞

8月24日、後楽園ホールでJBC主催の第1回U-15ボクシング全国大会“燃える夏の後楽園”が開催され、北海道から沖縄まで各地の予選を勝ち抜いた121名の選手が登場し熱い戦いを展開した。52.5kg級で東日本代表として出場した小林光希は西日本代表の石灘選手を1回1分24秒RSCで下し中学生の部で見事に優秀選手賞に輝いた。光希は表彰式後「あまり緊張しなかったです。やりづらい相手に焦ったけど冷静に戦えました。会心の左が決まりました。将来の目標は世界チャンピオンです」とのコメントを出した。



やったぜ・光希!!
 会長とガッツポーズ



ごんごちゃんを見た!!



スポーツ選手に対して「心技体」を高めることが勝利と栄光への道であることが度々指摘されます。精神力を高め(メンタル)、技術を磨き(テクニク)、しなやかで且つ頑強な体(フィジカル)を作るために日々の鍛錬が必要ですが、私はボクシングのプロ選手ほどストイックなものはないと思います。1年で3試合~4試合を戦い、1試合終わると次の試合に向けて練習を開始するという形が10年間続いて行きます。ファイトマネーは微々たるものですが、練習生諸君! 名誉と栄光の獲得に向けてがんばろう!!

玄間晃裕 引分(優勢勝ち)(9/26)

スーパーフェザー級で出場した玄間は、角海老宝石ジムの安住幸一郎選手と対戦。1ラウンドから4ラウンドまで両者一進一退の試合展開となった。玄間は、いつものように体全体からほとばしり出る戦う気迫が感じられず安住選手のプレッシャーにロープを背負う場面も度々。判定に纏れ込み引き分け。トーナメント制のため玄間の優勢勝ちで決勝戦へ進出した。



スケジュール

- 10月13日 平井良維:12戦
- 11月02日 鬼ヶ島竜、斎藤司、玄間晃裕、山本直平、東日本新人王決勝戦
- 11月10日 大塚メロン貴光:8戦、福本雄基:9戦
- 11月16日 第7回 三谷大和スポーツジム スパリング大会

編集後記 東日本新人王戦が終盤を迎え白熱してきた。三谷ジム所属の4選手は揃って決勝戦に進出している。新人王戦はデビュー以来、4勝以内、2回までの出場条件のなかで自己自身がプロボクサーとして通用するか心身ともに試される試金石でもある。4人全員の新人王獲得を望む。